

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11171283 A**

(43) Date of publication of application: **29 . 06 . 99**

(51) Int. Cl

**B65D 85/575**

(21) Application number: **09363566**

(71) Applicant: **HITACHI MAXELL LTD**

(22) Date of filing: **15 . 12 . 97**

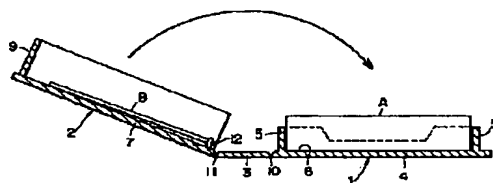
(72) Inventor: **NAKAMURA TSUTOMU**

**(54) TAPE CARTRIDGE STORAGE CASE**

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To improve workability for storing a sheet-shaped accessory such as an index card for a tape cartridge storage case whose plastic case main body and cover are integrally formed freely foldable through a back wall.

**SOLUTION:** On the inner face of a top wall 7 of a cover 2, a regulation rib 12 is provided protrusively close to a back end. When packaging, a tape cartridge A is stored in a case main body 1, and a sheet shaped accessory B is temporarily placed on the cover 2 inner face in a condition where the accessory B catches the regulation rib 12. Then by closing the case main body 1 with the cover 2, the sheet shaped accessory B is inverted and is transferred onto the tape cartridge A top face in the case main body 1 of a stored condition.



COPYRIGHT: (C)1999,JPO

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-171283

(43)公開日 平成11年(1999) 6月29日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
B 6 5 D 85/575

識別記号

F I  
B 6 5 D 85/00

3 1 1 F

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平9-363566

(22)出願日 平成9年(1997)12月15日

(71)出願人 000005810

日立マクセル株式会社

大阪府茨木市丑寅1丁目1番88号

(72)発明者 中村 勤

大阪府茨木市丑寅1丁目1番88号 日立マ  
クセル株式会社内

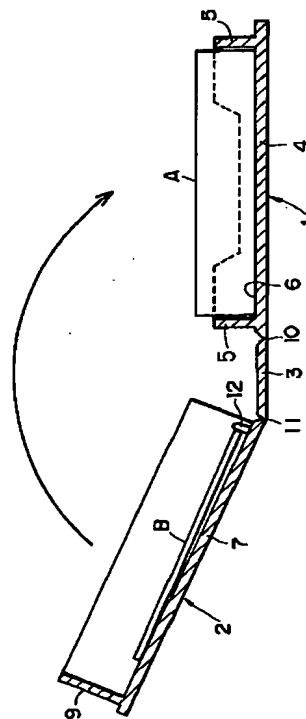
(74)代理人 弁理士 折寄 武士

(54)【発明の名称】 テープカートリッジの収納ケース

(57)【要約】

【課題】 プラスチック製のケース本体1と蓋2とが背壁3を介して折曲自在に一体成形された、テープカートリッジの収納ケースにおいて、インデックスカードなどシート状付属物Bの収納作業性の向上を図る。

【解決手段】 蓋2の上壁7の内面には、後端寄り部位に規制リップ12を突設する。個装に際し、ケース本体1の中にテープカートリッジAを収納し、蓋2の内面上にシート状付属物Bをこれが規制リップ12に引っ掛かる状態で仮置きする。すると、ケース本体1に対し蓋2を閉じ合わせることで、シート状付属物Bは反転してケース本体1内のテープカートリッジAの上面に移し載せられた収納状態が得られる。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ケース本体 1 に対し蓋 2 が背壁 3 を介して折曲自在に一体につながっており、  
 ケース本体 1 は、四角形の底壁 4 と、この底壁 4 の内面上の前後端寄り部位および左右端寄り部位の四側方から立設された内周側壁 5 とを有しており、  
 蓋 2 は、閉じ状態で前記底壁 4 に対向する上壁 7 と、この上壁 7 の内面上の前端寄り部位および左右端寄り部位の三側方から立設されて、閉じ状態で前記内周側壁 5 の外側に重なり合う外周側壁 9 とを有しており、  
 ケース本体 1 の内周側壁 5 で囲まれる凹所 6 内に、テープカートリッジ A が収納され、このテープカートリッジ A の上面と上壁 7 の内面との間に、シート状付属物 B が介在するよう収納可能であり、  
 前記上壁 7 の内面上の後寄り部位に、前記シート状付属物 B が背壁 3 の方向へ移動するのを阻止する規制リップ 1 2 が突設されているテープカートリッジの収納ケース。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明が属する技術分野】 本発明は、テープカートリッジの収納ケースに係り、これと一緒に収納されるインデックスカード、ラベルシートなどのシート状付属物の収納作業性に改善を加えたものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、この種の収納ケースとして図 5 ないし図 7 に示す形態が公知である（例えば、実開昭 6 0 - 1 9 5 7 8 1 号公報）。そこでは、図 5 に示すように、プラスチック製のケース本体 1 と蓋 2 とが両者間の背壁 3 を介して折曲自在に連結された状態に一体形成されている。ケース本体 1 には、四角形の底壁 4 の内面上の前後端寄り部位および左右端寄り部位の四側方から内周側壁 5 を立設している。蓋 2 には、上壁 7 の内面上の前端寄り部位および左右端寄り部位の三側方から外周側壁 9 を立設している。そして図 7 に示すように、ケース本体 1 に対し蓋 2 を閉じると、上壁 7 が底壁 4 と対向し、外周側壁 9 が内周側壁 5 の外側に重なり合うようになっている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 個装に際し、収納ケースには、図 7 に示すごとくインデックスカード、ラベルシートあるいは商品説明書などのシート状付属物 B がテープカートリッジ A の上面に載置される状態に収納される。この収納作業に際しては、図 6 に示すごとく開蓋状態でテープカートリッジ A をケース本体 1 の内周側壁 5 で囲まれる凹所 6 内に収納し、シート状付属物 B を閉蓋時に折れ曲がることのないように、テープカートリッジ A の上面にその四方がはみ出ることなくきちんと置き、そのうえで蓋 2 を閉じている。しかし、そのようにシート状付属物 B をいちいちテープカートリッジ A の上面に整然と置く作業は容易でなく、これが作業能率の低下の

原因になっていた。

【0004】 本発明の目的は、このような実情に鑑みてなされたものであって、シート状付属物の収納作業性の向上を図れる収納ケースを提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明の収納ケースは、図 1 に示すごとくケース本体 1 に対し蓋 2 が背壁 3 を介して折曲自在に一体につながっている。ケース本体 1 は、四角形の底壁 4 と、この底壁 4 の内面上の前後端寄り部位および左右端寄り部位の四側方から立設された内周側壁 5 とを有する。蓋 2 は、閉じ状態で前記底壁 4 に対向する上壁 7 と、この上壁 7 の内面上の前端寄り部位および左右端寄り部位の三側方から立設されて、閉じ状態で前記内周側壁 5 の外側に重なり合う外周側壁 9 とを有する。図 4 に示すごとくケース本体 1 の内周側壁 5 で囲まれる凹所 6 内に、テープカートリッジ A が収納され、このテープカートリッジ A の上面と上壁 7 の内面との間には、シート状付属物 B が収納可能である。そのうえで本発明は、前記上壁 7 の内面上の後寄り部位に、前記シート状付属物 B が背壁 3 の方向へ移動するのを阻止する規制リップ 1 2 が突設されていることを特徴とする。

## 【0006】

【作用】 テープカートリッジ A およびシート状付属物 B を収納するに際し、先ず図 2 に示すごとく蓋 2 を開けた状態で、テープカートリッジ A をケース本体 1 の凹所 6 内に収納し、シート状付属物 B を裏返して蓋 2 の上壁 7 の内面上にその後端縁が規制リップ 1 2 に引っ掛かる状態に仮置きする。次いで、図 3 および図 4 に示すごとくケース本体 1 に対し蓋 2 を折曲して閉じ合わせると、シート状付属物 B は反転してテープカートリッジ A の上面に移し載せられる収納状態が得られる。すなわち、シート状付属物 B は蓋 2 の上壁 7 の内面上に背壁 3 の方向へ移動することのないよう規制リップ 1 2 に引っ掛け状態に仮置きしておくと、蓋 2 の閉じ途上でシート状付属物 B が背壁 3 の方へ移動して折れ曲がったりする不具合がなく、また外周側壁 9 の存在により前方および左右方向へ大きく移動することもなく、上壁 7 からテープカートリッジ A の上面へ整然と位置する状態に移し載せることができる。

## 【0007】

【発明の効果】 このように本発明によれば、蓋 2 の内面に規制リップ 1 2 を設けるだけの簡単な手段でありながら、シート状付属物 B は蓋 2 の内面上に仮置きさえしておけば、蓋 2 を閉じると同時にテープカートリッジ A の上面に載置収納される状態が得られる。従って、シート状付属物 B をいちいちテープカートリッジ A の上面にきちんと置く作業に比較して、簡単に能率よく収納することができる。つまり、シート状付属物 B を蓋 2 の内面上に仮置きする手間は、テープカートリッジ A の上面にきちんと置く手間に比べて費やす時間や労力が少なくて済

む。

# 【0008】

【発明の実施の形態】本発明に係るテープカートリッジの収納ケースの一実施例を図1ないし図4に基づき説明する。図1において、この収納ケースは、図5に示す前述の従来例とほぼ同様に、プラスチック製のケース本体1と蓋2とが両者間を背壁3で折曲自在に連結される状態に一体成形されている。ケース本体1は、四角形の底壁4の内面上の前後端寄り部位および左右端寄り部位の四側方から内周側壁5を立設することにより、底壁4の内面上にテープカートリッジ収容用の凹所6を内周側壁5で囲む状態に形成している。

【0009】蓋2は、四角形の上壁7の内面上の前端寄り部位および左右端寄り部位の三側方から外周側壁9を立設し、図4に示すごとく閉蓋すると上壁7が底壁4と対向し、外周側壁9が内周側壁5の外側に重なり合うようにしている。更に、上壁7の内面の後端寄り部位から1個または2個以上の規制リップ12を突設し、開蓋状態で、上壁7の内面上にインデックスカード、ラベルシートあるいは商品説明書などのシート状付属物Bを仮置きした場合に、のシート状付属物Bが背壁3の方向へ移動することのないようその後端縁が規制リップ12に引っ掛かるようにしている。規制リップ12は、図4に示すごとく閉蓋状態でケース本体1の後端寄り部位から立設した内周側壁5の上方に対向するよう位置設定される。図1に示すごとく規制リップ12を複数個設ける場合は、上壁7の内面の後端寄り部位の左右方向に所定間隔を置いて並列状に配設する。なお、ケース本体1と背壁3との間、および蓋2と背壁3との間は、それぞれ薄肉の一体成形ヒンジ10・11で折曲自在に連設されている。

【0010】テープカートリッジAを個装する際には、\*

\* 図2に示すごとく蓋2を開いた状態にして、ケース本体1の凹所6内にテープカートリッジAを収容し、シート状付属物Bを裏返し状態にして蓋2の上壁7の内面上に規制リップ12に引っ掛ける状態に仮置きする。次に、図3に示すごとく蓋2を閉じると、図4に示すごとくシート状付属物Bは反転してテープカートリッジAの上面に移載し、テープカートリッジAの上面と上壁7の内面との間に介在する状態に収納される。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 収納ケースの開蓋状態を示す斜視図である。

【図2】 収納ケースの開蓋状態を示す断面図である。

【図3】 収納ケースの閉蓋途上状態を示す断面図である。

【図4】 収納ケースの閉蓋状態を示す断面図である。

【図5】 従来例の収納ケースの開蓋状態を示す斜視図である。

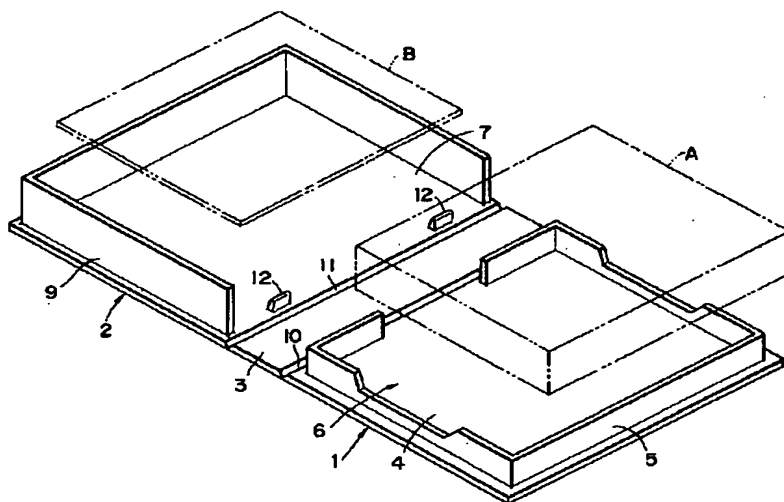
【図6】 図5の収納ケースの開蓋状態を示す断面図である。

【図7】 図5の収納ケースの閉蓋状態を示す断面図である。

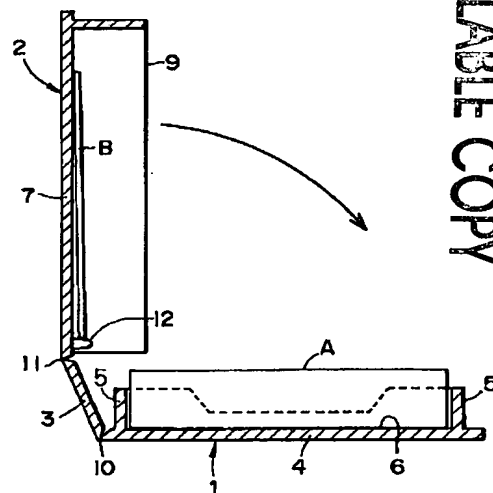
## 【符号の説明】

- 1 ケース本体
- 2 蓋
- 3 背壁
- 4 底壁
- 5 内周側壁
- 6 凹所
- 7 上壁
- 9 外周側壁
- 12 規制リップ

【図1】

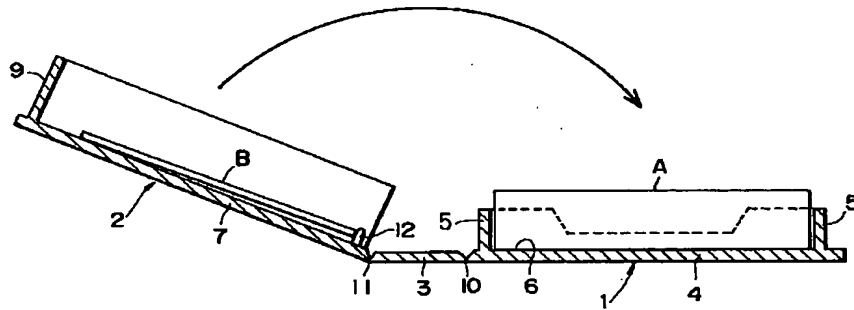


【図3】

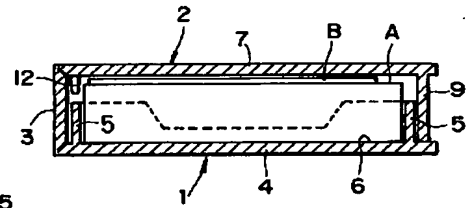


BEST AVAILABLE COPY

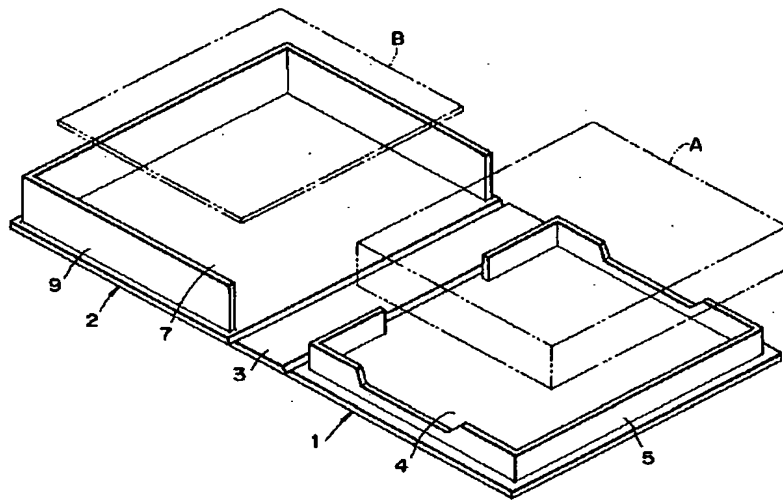
【図 2】



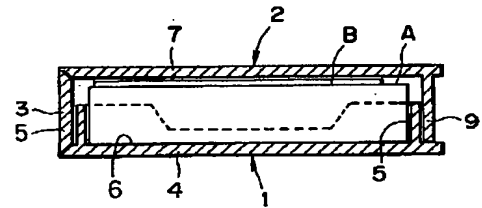
【図 4】



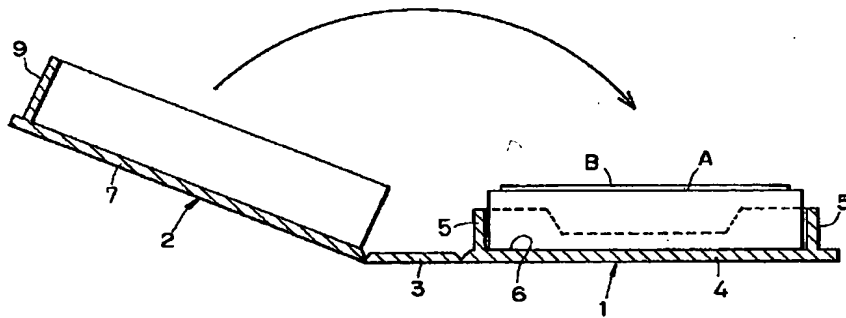
【図 5】



【図 7】



【図 6】



BEST AVAILABLE COPY